

報告事項 1 2025年度事業計画案

■2025年度事業計画

I. 事業方針

当推進委員会では、大阪ヘルスケアパビリオン（以下「パビリオン」という。）の出展に向け「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画」（以下「基本計画」という。）を具体化する取組みを進めている。

2024年度は基本計画に基づき、建築、展示、行催事、運営とこれらにかかる財源確保、レガシーの利活用などについて検討を進めるとともに、建築、展示等の実行業務を担当する「公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン」（以下「大阪パビリオン法人」という。）と連携し、開幕・会期中を見据え、具体的な実施計画・マニュアル等の策定及び事業全体の進捗管理を行ってきた。

2025年度は、大阪・関西万博が開幕する重要な年となることから、会期中のパビリオンの運営を大阪パビリオン法人と連携しながら着実に行うとともに、テーマである「REBORN」に沿った展示や行催事等を通じ、国内外からの来館者に向けて大阪という都市の活力・魅力を発信する。また、パビリオンの理念をレガシーとして後世に継承するための取組みを進める。

Ⅱ. 基本計画に基づく検討・実施

1. 基本計画の実現に向けた進捗管理

パビリオンの館内運営やイベント広場での行催事、様々な広報ツールを活用した情報の発信など、安全・安心かつ快適に楽しめるパビリオンの実現に向け取組みを進めるとともに、閉幕後は、建物の解体撤去や公式参加記録誌の作成、パビリオンの出展をハード・ソフトの両面からレガシーとして後世に継承するための取組みなど、基本計画の実現に向けた事業の推進・進捗管理を行う。

2. 総合調整

① 建築、展示、行催事、運営、商業活動、広報

大阪パビリオン法人と連携し、円滑な業務実施に向けて、全体業務の総合的な調整等を行う。

② 財務

各事業の進捗を踏まえ、必要に応じ財務計画の見直しを含め、調整を進めるとともに、適切な事業費の執行管理を行う。

③ 事業評価

パビリオンでの取組みを評価し、その結果を公表する。